

Day 1

簿記の基礎

いよいよ、今日から学習開始ですね。
今日は簿記の基本的なルールから
簿記のカナメ、仕訳までを学習します。



●そもそも「ぼき」とはなんだろう？

簿記の必要性

簿記とは？

簿記は、帳簿記入の略だといわれています。つまり、帳簿をつけること、これが簿記なのです。ここで帳簿というのはノートのことだと思ってください。



簿記の種類はいろいろありますが、建設業で採用される簿記が建設業簿記ですね。

「ぼき」はなんのために必要か？

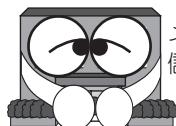
なぜ帳簿をつける必要があるのか、ここからが大切です。

企業はいろいろな活動をしています。モノを買ってきたり、売ったり、作ったり、電話代や給料を支払ったり…。このような活動を記録しておかないと、会社に現金や預金などがいくらあるのか（財政状態といいます）、また会社がいくら使って、いくら儲けたか（経営成績といいます）がわからなくなります。そのため帳簿をつける必要があるのです。

要点

簿記の目的

会社になにがいくらあるのか（財政状態）、会社がいくら儲けたか（経営成績）を示すこと



メモしてあかなかったから
儲けがわからないよ～

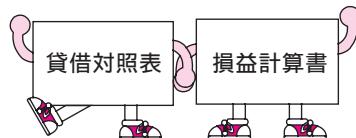
また、財政状態を明らかにする表を**貸借対照表**、経営成績を明らかにする表を**損益計算書**といいます。

超重要

貸借対照表…財政状態を明らかにする表

損益計算書…経営成績を明らかにする表

財政状態を
明らかにします。



経営成績を
明らかにします。



1 簿記の目的はなに？

2 貸借対照表はなにを明らかにする表？

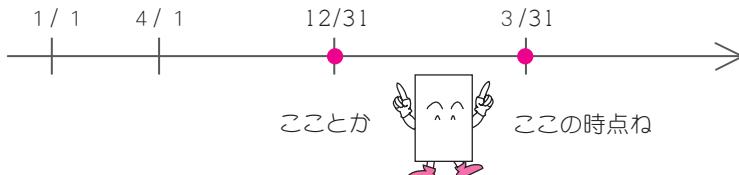
3 損益計算書はなにを明らかにする表？

●財産の状況を表します

貸借対照表を知る！

■ 貸借対照表とは？

貸借対照表とは、一定時点で会社になにがいくらあるのか（財政状態）を明らかにする表をいいます。この一定時点のことを**決算日**といいます。



要点

決算日とは

決算日…一定時点の締め日のこと

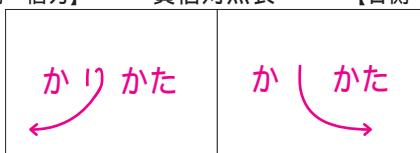
■ 借方と貸方

貸借対照表は大きく、左側と右側に分かれます。そして、左側をかりかた（借方）、右側をかしかた（貸方）といいます。

【左側＝借方】

貸借対照表

【右側＝貸方】



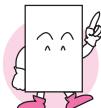
「かりかた」の「り」が左向きなので左、
「かしかた」の「し」が右向きなので右とあほえましょう。

■ 貸借対照表の右側（貸方）は負債と純資産（資本）

まずは貸借対照表の右側から見ていきましょう。

貸借対照表の右側（貸方）は、会社が使うお金をどのように集めてきたかを表します。

会社の資金調達のひとつに借入れがあります。



資金調達…お金を集めることです。

たとえば銀行からお金を借りてくると、「お金が手元に入るのと同時に返さなければならない」という義務が生じます。この義務を**負債**といいます。借金など増えるとイヤなものが**負債**です。

また、誰から出資してもらって、この出資を元手に会社を経営することができます。出資してもらったお金は返す必要はありません。この返す必要のないお金、つまり会社の元手となるものを**純資産（資本）**といいます。



純資産は**資本**ともいいます。

つまり、集めてきたお金のうち、あとで返さなくてはならないものが**負債**、返さなくてよいものが**純資産（資本）**ということになります。

【左側=借方】

貸借対照表

【右側=貸方】

	負 債
	純資産

か り かた

か し かた

負 債

←増えるとイヤなものの

純資産

←元手
(返さなくてよい)

■ 貸借対照表の左側（借方）は資産

貸借対照表の左側は、集めてきたお金の使い途（運用形態）を表します。現金で残っているのなら現金、土地を買ったなら土地です。これらを資産といいます。



現金も土地も増えたらうれしいですよね。
ですから、増えたらうれしいものが資産です。

超重要

貸借対照表

【左側＝借方】

↑	資産
↑	増えると うれしいもの
かゞかた	かしきかた

貸借対照表

【右側＝貸方】

負債	←増えると いやなもの
純資産	←元手 (返さなくて よい)

■ 勘定科目とは？

簿記では、紙幣や硬貨を現金、ビルやマンションを建物、机やイスを備品といいます。これらの現金、建物、備品などを勘定科目といいます。

資産、負債、純資産の勘定科目には次のようなものがあります。

●資産の勘定科目●

現 金	紙幣や硬貨など
材 料	木材、セメント、鉄骨など
建 物	自社で使っているビルなど（販売用のものは除く）
備 品	机、イス、コンピュータなどの事務用品
完成工事未収入金	完成して引き渡した工事代金の未収額（あとで代金をもらえる権利）
貸 付 金	貸したお金をあとで返してもらえる権利



増えたらうれしいものです。段々と学習していくので、今の時点では勘定科目をおぼえる必要はありません。

●負債の勘定科目●

工事未払金	工事費用の代金の未払額（あとで代金を支払わなければならぬ義務）
借 入 金	借りたお金をあとで返さなければならない義務

負債は返さなければなりません。



●純資産の勘定科目●

資 本 金	元手や利益など、会社が自由に使えるお金
-------	---------------------



返す必要がありません。

■ 貸借対照表のルール

貸借対照表は必ず右側と左側の金額の合計が一致します。また、純資産は資産から負債を引いて計算します。

$$\text{資産} - \text{負債} = \text{純資産 (資本)}$$

■ 貸借対照表の形

貸借対照表の正式な形は次のとおりです。

貸 借 対 照 表				
○○工務店		× 1年 12月 31日		(単位:円)
資 产		金 额	负 债・纯 资 产	金 额
借 方	现 金	240	工 事 未 払 金	230
	完成工事未収入金	400	借 入 金	270
	建 物	310	資 本 金	450
		950		950

借方合計と貸方合計（貸借合計）は必ず一致



- 1 借方と貸方はどっちが右？
- 2 貸借対照表の右と左には“なに”がある？
- 3 貸借対照表のルールは？